

第58回 全国保育問題研究集会

くまもと



地上のたからである子どもの権利を守りぬく社会を

子どもに安心と希望を おとなに生きがいとしあわせを

保問研 83 年の歴史に学び つながり 伝えあう保育を

2019年 6月 7日(金)~9日(日)

7日(金) 熊本県立劇場

12:00	13:00	14:30	14:45	16:15	16:30	17:30	18:00	19:30
受付	オープニング・基調提案	休憩	記念講演	休憩	歓迎行事	移動	分科会打ち合わせ	

8日(土) 尚綱大学九品寺キャンパス

8:30	9:15	12:00	13:00	16:30	17:00	18:30
受付	分科会	昼食	分科会	移動	特別講座	

9日(日) 尚綱大学九品寺キャンパス

9:15	11:15	11:45	12:45
分科会	移動	閉会集会	

主催：全国保育問題研究協議会 第58回全国保育問題研究集会熊本集会実行委員会
後援：熊本県 熊本市 熊本県私立幼稚園連合会 熊本市私立幼稚園・認定こども園協会
熊本市教育委員会 上天草市教育委員会 八代市教育委員会 山鹿市教育委員会
熊本日日新聞社 RKK TKU KKT KAB 熊本シティFM

第58回全国保育問題研究集会 歓迎のことば

子どもの幸せと豊かな育ちのために、全国各地でがんばっておられる保育関係者のみなさん。今年の集会は熊本での開催です。3年前に大きな地震に見舞われ、未だ復興への道半ばの熊本ですが、現地実行委員会は2年がかりで準備を進めてまいりました。

今回の集会のメインテーマ「愛と平和」に、私たちは格別の思いを込めました。日本国憲法は、「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないようにすること」を主権者国民が決意し、「平和のうちに生存する権利」を確認して生まれたものです。平和は保育の前提であるだけでなく、実践の指針や大きな目標となる価値ではないでしょうか。また、児童憲章が「すべて児童は、愛とまことによって結ばれ、…人類の平和と文化に貢献するようにみちびかれる」とうたっていることに、あらためて注目したいと思います。なぜなら、この平和に背を向ける改憲への政治的な動きが強まっているからです。

また、2017年に改訂された「保育所保育指針」や「幼稚園教育要領」は、「国旗/国歌に親しむ」「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」など、子どもと保育・教育を上から型にはめる子ども像の押しつけにならないでしょうか。園の内外で子どもの自由時間や遊びを奪う傾向が広がっていることと無縁ではありません。

2019年は、「子どもの権利条約」が日本で批准され25年目の節目に当たります。1月に実施された国連・子どもの権利委員会における日本政府報告書審査の結果(勧告)は、上記の問題のほか「改正児童福祉法」「無償化」「待機児童」問題など、本集会での議論に役立つはずで、子どもの権利条約市民・NGOの会が同委員会に提出した統一報告書「日本における子ども期の貧困化—新自由主義と新国家主義のもとで—」(山下も起草委員)もぜひ参考にさせていただきたいと思えます。

奇しくも、本集会は「熊本保問研」発足(1989年)から30年目、第1回の熊本集会(2004年)から15年目です。熊本のこれまでの保育運動は苦難の歴史でした。しかし、それは全国の運動に励まされてこそその発展の足取りでもあったといえるでしょう。第1回九州保育合研が熊本で開かれた(参加者87名)ことが報じられるや、関係者の中で「大騒ぎ」となった1970年の状況(基調提案で紹介)からは隔世の感があります。いま、現地実行委員会には毎回、若い保育者を中心に100人が集まります—子どもへの愛とプロとしての誇り、学ぶ要求をいだいて。

みなさん、期待してお越しください。「火の国」熊本の熱い実行委員が「くまモン」「ルフィ」(熊本出身の尾田栄一郎の世界的漫画「ワンピース」の主人公)と一緒に、趣向をこらし快適な学びと交流の場、おいしい味とおもてなしを用意してお待ちしています。

熊本集会実行委員長 山下 雅彦

6月7日(金)
熊本県立劇場

開会集会
13:00~14:30

- ◆オープニング
- ◆歓迎あいさつ…実行委員長 山下 雅彦
- ◆主催者あいさつ…全国保育問題研究協議会 西川 由紀子
- ◆基調提案…全国保育問題研究協議会 基調提案作成委員会

記念講演 14:45~16:15

「生まれつき悪い子なんていない ～奈良少年刑務所の絵本と詩の教室～」

生育環境に恵まれず、犯罪を起こすところまで追いつめられ、少年刑務所にたどりついた子どもたち。彼らが心の扉を開き、自分自身を取りもどしてもらったのは「絵本と詩の教室」でした。



寮 美千子(りょう みちこ)

作家・詩人。1955年、東京生まれ。

1986年、毎日童話新人賞を受賞してデビュー。

2005年、泉鏡花文学賞を受賞。2006年、首都圏から奈良に移住。

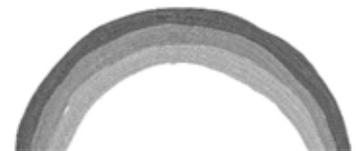
2007年～2016年、奈良少年刑務所で社会性涵養プログラム講師。

幼年童話から絵本・純文学・ノンフィクションまで幅広く執筆。

歓迎行事
16:30~17:30

熊本の保育者集団による
パフォーマンス

「くまとやまねこの
おはなし」



6月9日(日)
尚絅大学九品寺キャンパス

閉会集会
11:45~12:45

- ◆現地実行委員会より
- ◆閉会のあいさつ…熊本集会実行委員会
- ◆特別報告
- ◆次回開催地…京都からのアピール



分科会

6月8日(土) 9:15~16:30
6月9日(日) 9:15~11:15

1 乳児保育



「乳児保育」分科会は長い歴史があり、常に「子どもの最善の利益」の観点から乳児保育のよりよいあり方を考えてきました。年齢別クラス担当基準をはじめ、乳児の生活と発達を豊かに保障する保育内容、方法、環境構成などの具体的な実践を通して検討していきます。また、子ども・子育て支援制度の下で、子どもの学びや発達の原理とは相容れない「保育」と「教育」の分断化や、市場原理の導入による「保育の質」の低下が進行しています。制度の問題点や矛盾点を解消するためにも、実践を踏まえた幅広く実り豊かな討論を共にしていきましょう。

運営委員 浅川淳司(石川)・遠田えり(北埼玉)・亀谷和史(愛知)・佐々木洋子(東京)・柴野邦子(北海道)・津嘉山由美子(沖縄)・友廣万貴子(岡山)・中川伸子(広島)・西林正美(兵庫)・沼田史(福岡)・野村朋(大阪)・布施佐代子(愛知)・松田千都(京都)

2 集団づくり



いま、人権と民主主義が問われています。子どもたちを民主的な主権者として人間らしく育てていくために、子どもたちの要求を掘り起こし、豊かな集団生活を保障していきたいと思えます。

自治的、民主的集団をめざし、子どもたちの現実や集団の現状をふまえて、実践の道筋と手だてをどう考えたらよいか、地域や家庭をも視野に含めた実践をどうつくりだすのか、また保育者集団のあり方など、実践をもとに深めていきましょう。

運営委員 池田かよ子(東京)・大元千種(佐賀)・光本弥生(広島)・丹野広子(仙台)・徳留由貴(兵庫)・中島常安(北海道)・中洲良子(大阪)・長瀬美子(大阪)・服部敬子(京都)・林若子(南埼玉)・古庄範子(熊本)・渡邊真依子(愛知)・吉田真理子(三重)・脇信明(長崎)

3 あそび



子ども時代が豊かなあそびに満ちていることの重要性は誰も否定できません。子どもにとってあそびの何が大切なのか。なぜ人はあそぶのか。学びとのちがいはなにか。これまで蓄積されてきたあそびの実践報告も踏まえ、子どもがあそびの中でどのような自分を育てていくのか、仲間とどのように育ちあうのか、そのために保育者はどのようにあそびを組織し、発展させていったらよいか、丁寧に検討していくことが求められています。栽培や飼育活動も含め、全国各地で展開されている、子どもたちが輝くたくさんの楽しいあそびの実践を交流し、保育者の手立てのあり方を話し合っていきましょう。

運営委員 岡村由紀子(静岡)・木都老克彦(神奈川)・塩崎美穂(愛知)・竹内圭(京都)・田中浩司(東京)・仲村健一(沖縄)・古林ゆり(福岡)・松元泰樹(鹿児島)・三浦和恵(仙台)・宮城千鶴(大阪)

4-a 身体づくり—運動



この分科会は、保育実践における「運動」のあり方について考えるところです。「運動」はからだを育てることはもちろん、保育者、仲間との関係、こころを育てていきますが、単に「運動」すればよいというものではありません。今なぜ、その「運動」なのか、その教材を通して何を教えるのか、子どもの運動要求をどのように掘り起こし、組織化するのか等、乳幼児期の発達に即して、「運動」の目的、内容、方法等を丁寧に考える必要があります。今日、便利な生活が進行するなかで「運動」する機会そのものが奪われつつあり、乳児期からより意識的な身体づくりの実践が求められています。各園がおかれている保育環境、保育条件のなかでの工夫はもちろん、子どもの最善の利益を保障するという視点に立って、豊かな身体づくりを実践するために必要な保育環境の基準についても考えていきたいと思えます。

運営委員 上月智晴(京都)・佐々木雄大(東京)・塩田桃子(大阪)・千葉直樹(仙台)・永井三千代(北埼玉)・福井英二(福岡)・山口千恵子(兵庫)・横井喜彦(愛知)

4-b 身体づくり—食



「食」は命を守り維持し、成長を保障する基本です。健康な身体は発達の基礎です。子どもたちや保護者の現状を知り、健康な子どもを育てるために何が必要か実践を通して語り合しましょう。昨年までの集会から続いて給食費の実費徴収、給食のセンター化・委託化、食材の安全、食を通じての子どもたちのこころの育ち、情報過多・自己責任の社会構造の中で評価にさらされている子どもや保護者とのかかわり、食経験の格差、食育活動や食文化などについて語り、学びましょう。

運営委員 安部貴洋(仙台)・長谷部幸子(北海道)・加藤雅美(愛知)・小西律子(兵庫)・芹澤早由里(滋賀)・三上かおる(大阪)・宮田隆子(京都)

5-a 認識と表現—文学



これまで提案され、話し合ってきた実践は、絵本の読み聞かせ・お話づくり・劇あそび・劇づくり・紙芝居などの活動、教材としての絵本の分析、父母・地域とかかわる園文庫の取り組みなど、多岐にわたっています。多様な実践に迫る共通の視点は、文学と出会うことによって認識を深め、表現し、その中で子どもたちの生活がよりよいものになり、集団の質が高まることです。文学の実践の可能性を追求していきましょう。

運営委員 小川絢子(愛知)・佐藤智恵美(北海道)・田代康子(東京)・徳永満理(兵庫)・西川由紀子(京都)・山崎由紀子(大阪)

5-b 認識と表現—美術



子どもの絵のとらえ方や見方、指導のあり方について古くから保研の中でも多様な考え方や実践があります。毎年の分科会では、こうした積み重ねを丁寧に認識し合うと同時に、様々な実践の違う点、結論を急がずじっくり実践の事実を丁寧に話し合う中で相互理解を深めていけたらと思います。そこから見えてくるものを大切にしたいと思えます。

運営委員 伊藤正雄(東京)・高倉幸代(福岡)・田中義和(愛知)・平沼博将(京都)・本田美絵(大阪)・山田真世(広島)

5-c 認識と表現—音楽



音楽分科会は、子どもたちの生活を語り、子どもたちの歌声等を聴きあい、「音楽が保育園の暮らしの様々な事と繋がりを育てている事実」を深め合っています。保育の中の音楽は多様にあります。これまでの分科会の中では、『わらべ歌』『創作曲』『あそびうた』『キーボード』『太鼓』『歌曲』『劇ごっこ』『リズム表現』などが提案されてきました。子どもたちを夢中にさせるその教材の魅力に大事にし、選んだ音楽の何が(どこが)子どもたちを育てたのかを探り続けています。分科会では、子どもの描いた絵、制作物、絵本などの展示、あそびや歌の様子のDVDなどで、提案の内容を深めています。

運営委員 安藤正彦(京都)・坂手佳子(大阪)・高橋弘子(群馬)・高橋陽子(北埼玉)・藤波陽子(栃木)・山並道枝(熊本)

5-d 認識と表現—科学



原発事故処理の見通しが立たない中、地震国であるにも関わらず、原発が再稼働されています。このような状況下で、科学者の目を持って生きることが、ますます重要になっていけると言えるでしょう。子どもたち一人ひとりが、良識ある科学者としての目を持った市民として将来的に育っていくには、どうしたらよいのでしょうか。乳幼児期にふさわしい科学的なものの見方・考え方とは、いったいどのようなものなのでしょうか。それを幼い子どもの中に育てていくためには、保育者として何を大切にし、どのような実践を展開していけばよいのか、実践を基に考え、議論を深め合しましょう。

運営委員 清原みさ子(愛知)・滝口圭子(石川)・富田昌平(三重)・深井いし子(京都)

6 保育計画



保育計画作成は、保育全般に関わり、なおかつ基底となる作業といえるでしょう。保育実践の根底にある子ども像、保育計画を目の前の子どもたちの姿と家庭・地域の状況を踏まえて検討し、職員間・保護者も含めて合意形成する必要があります。「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」が施行されました。保育計画づくりは、保育者の専門性を向上させるものであり、なによりも子どもの生活やあそび、発達を豊かにするものであるはずで、本分科会で改めて、「保育計画とは」を深めていきます。

運営委員 荒堀育子(京都)・入江慶太(岡山)・合田史宜(愛媛)・永谷孝代(大阪)・渡邊保博(京都)

7 保育時間と保育内容



本分科会が出来て46年になります。その間、子育てと仕事の両立を願って保育時間は長くなり、日曜・祝日、夜間なども保育を実施する園が増えてきました。それに伴い、保育時間がばらばらな子どもたちが毎日保育園に通ってきます。本分科会では、制度、施策の変化のなかで苦勞しながら、子どもにとってどのような視点、内容で保育を行っていったらよいかを模索してきました。父母の厳しい労働実態、生活実態と、そこで暮らし、成長する子どもたちのことをそれぞれの職場から出し合い、悩みや工夫も含めておおいに語り合い、考え合いたいと思います。夏には保育計画の分科会と一緒に夏季セミナーも計画しています。

運営委員 河野友香(愛知)・清水民子(京都)・清水玲子(東京)・横井洋子(北海道)

8 保育政策と保育運動



「子ども・子育て支援新制度」の施行4年を経て、子どもの生育環境は改善できず、父母や保育現場の職員、自治体担当者の負担は増すばかりです。子どもの貧困や格差、保育事故や虐待事例も深刻です。待機児童問題や職員配置基準の引き上げ、保育士処遇改善など、権利として保育を支える制度への抜本的な転換が必要です。また、政策の中身の多くは、規制緩和と市場化路線の積極的展開です。各地での保育要求に応える取り組み、保育実践から深められた「保育の質」を守る政策課題と保育の権利を保障する運動のあり方を考えます。

運営委員 大宮勇雄(東京)・景山一正(岡山)・杉山隆一(大阪)・武尾正信(京都)・中村強士(愛知)・森山幸朗(島根)・吉葉研司(沖縄)

9 障害児保育



障がいを持った子どもなど、保育においても特別な支援を必要とする子どもたちへの関心が高まっています。支援が必要な子どもへの保育に取り組むことは、クラスの子どもの全体の保育を見直し、職員集団や保護者との協力連携関係を構築していくことにつながります。それは、どの子どもも発達し保育に参加することを保障するインクルーシブな保育を実現することであり、保育の原点を再発見することです。これまでの障害児保育の優れた実践をもとに蓄積された理論を土台にしながら、この時代に必要な実践を創造していきましょう。

運営委員 河合隆平(石川)・杉山弘子(仙台)・田中洋(大分)・田中良三(愛知)・野本千明(滋賀)・浜谷直人(東京)・三山岳(京都)・山中万美(愛媛)

10 父母と共につくる保育内容



生きる力を育む生活の場としての保育は、「父母と共に子育てする」ことが不可欠です。しかし、父母の生活状況の変化や大人同士の関係づくりなど難しい課題も多くあります。そんな中でも、毎回、父母・保育者それぞれの立場から、お互いに手をたずさえての想いから出発したさまざまな実践が報告されています。父母と信頼関係をつくる・父母たちの保育参加を広げる・地域に根ざした共同の子育てを進める・保育者の情報共有や学びあいなどが討議されます。

運営委員 小堀智恵子(愛知)・長瀬弥生(大阪)・細見玲美(京都)

11 乳幼児期の平和教育



平和的人間の形成は現代の教育の原点であり、人類的課題といえるものです。乳幼児期から子どもの心の中に平和のとりでを築く平和教育の営みは、平和な将来の社会を保障する重要な条件であり、最も確実な道といえます。平和とは、単に戦争が無い状態だけでなく、貧困、飢餓、虐待、失業、人種・民族・性などの差別の無い、人権が守られている状態を指すものです。保育現場で、生きづらさを抱えた子どもたち・親たちに向き合い日々取り組んでいる、そのことが平和教育につながるものです。愛されているという安心感や自己肯定感を育むことも、仲間と話し合う力を培うことも平和の心を育てる実践といえます。平和教育は決して「敷居が高い」ものではありません。日常の保育を改めて平和教育の視点で捉え直してみることから始めていきましょう。

運営委員 石川秀子(広島)・ウィンフィールドひろみ(沖縄)・黒川久美(鹿児島)・千葉朝子(静岡)・船越美穂(福岡)

12 地域に開かれた保育活動



子どもの貧困が広がり、少なくとも7人に1人のこどもが経済的にも文化的にも厳しい家庭環境で育つことを強いられています。子育てが家庭で地域で孤立することがないように、保育園や幼稚園はこれまでさまざまな子育て支援活動に取り組んできました。本分科会では、保育園や幼稚園の地域活動とともに、市町村の相談援助活動、地域子育て支援センターなど地域のさまざまな機関・団体の協働の取り組みを交流してきました。いま、子ども・子育て支援新制度のもとで、地域子育て支援活動は新たな展開を迫られています。その課題の検討も含め、地域に開かれた保育活動の展望を切り開きたいと思います。

運営委員 愛甲明実(鹿児島)・野々上昭弘(大阪)・松浦崇(静岡)・望月彰(愛知)

13 特別分科会 異年齢保育



近年、異年齢保育に取り組む園が増えてきています。その形態も小規模の保育園だけでなく年齢別にクラス編成ができるような園でも行われたり、幼児だけでなく乳児を含む異年齢保育も行われています。2016年から異年齢保育の分科会が設置され、異年齢保育を実践している園、検討している園も含めてたくさんの参加者で論議と交流を行っています。異年齢保育を実践するなかでの悩みや工夫、疑問や課題を交流し、展望を語り合い、共に未来を切り開いていきましょう。

運営委員 佐藤満(滋賀)・谷川芳秋(京都)・森内靖子(静岡)・渡邊智美(三重)



特別講座

6月8日(土)
17:00～18:30

A 新制度見直しと私たちの保育

子ども・子育て支援新制度がスタートして5年たち、見直しと再スタートの時期を迎えている。この5年間に於ける新制度実施の到達点と課題は何かを明らかにする。

コーディネーター 大宮勇雄 杉山隆一

シンポジスト ①認定子ども園関係者 ②小規模保育事業関係者

B 震災時における保育再開をめぐる自治体の責任・保育園の役割について

2016年4月、熊本・大分地域は相次ぐ震度7の地震とともに止まることのない無数の余震に襲われました。このような中において、園舎使用が不可能と判断していち早く仮設保育所を立ち上げた御船町高木保育園、隣の建物が傾いて園庭使用が不可能な中保育を再開した熊本市の大光保育園、二つの事例を通して、震災時における保育園の役割・自治体の責任について考えてみます。

コーディネーター 全国保問研震災学習委員会

報告1. 震災時における自治体の責任について

藤木聖也(御船しあわせ日和実行委員)

報告2. 震災時における保育園の役割について

佐藤 和(大光保育園)

C 今、幼稚園はどのような子どもを育てたいのか～金井幼稚園の子どもを育ちを見つめる視点から～

今、子どもたちに求められている本来の育ちを、金井幼稚園の子どもたちの生活やあそび、環境、の姿から感じて欲しいことと、時代とともに変化してきた子どもの姿を検証することで次に繋がる子どもの育ちの方向性を探ることを皆さんと話し合いたいと思います。

講師：木都老克彦(横浜 金井幼稚園園長)

D 科学的にみた^{きつおん}吃音と、子どもの権利

吃音は幼児期に始まり、保育関係者が一番に相談を受けるとしています。近年、吃音の原因・支援法が180度変わりました。吃音のある子のロマンを示し、根拠に裏打ちされた事例を紹介したいと思います。多くの参加をお待ちしております。

講師：菊池良和(九州大学病院 医学博士)

E 「こうのとりのゆりかご」11年を終えて

諸事情により妊娠に悩み、苦しみ、子育てができない女性がいる。そのような女性の相談にのり、子どもの幸せを願って子どもを愛し、養育を強く願っている家庭に託している。

平成29年度の相談件数は7,444件。

講師：蓮田太二(慈恵病院 理事長兼院長)

F 水俣病と子どものいのち

熊本の南端、水俣市で原因不明の疾患の発生が報告されたのが1956年でした。その頃生まれた子どもたちは「胎児性水俣病」と呼ばれ障害を持って公害病と向き合いながら生きてきました。

公害の原点と子どものいのちについて語ります。

講師：花田昌宣(熊本学園大学 水俣学研究センター)

G 主任のしゃべり場、よっといで～！～主任だってほめられたい～

京都保問研では「主任になると保問研でしゃべる場所がない！」との声から主任部会が作られました。主任は保育の要なんて言われますが、悩みは尽きませんし、それを話す場所も少ないです。同じ立場だからこそ共感したり、しゃべって安心できることがあるのではないのでしょうか。

京都保問研発！悩める主任もそうでない主任もみんな集まれ～！

京都保問研

H 子どもが自ら育つ園庭整備～安全・安心から生まれる変化～

園庭整備を始めたけれど、気づいたら室内環境も行事の在り方も日課についても見直すことに…。

園に集うおとなたちを中心とした手作りによる園庭整備がもたらす様々な変化について具体的に触れていきます。

講師：木村歩美(神奈川 おおぞら教育研究所)

I 居心地よい地球のままでパトシリレーを！～描き、歌い、踊り、今を表現して生きることもたちのお話～

保育の現場は、みんなが命の鼓動を響かせる場所。笑う、泣く、手を繋ぐ、ぶつかりあう、いろんな感情をくぐり、表現しながらヒトが人になっていく。地球の裏側では、爆撃に怯えながら暮らす子どももいる。

ああ、どこに生まれても居心地よい地球で安心して育てますように。願いをこめて、話し、歌います。

講師：山下慶子(広島 口田なかよし保育園園長)

J 子どもの権利から保育をとらえ直す

子ども時代のスタートである乳幼児期とその保育を、「子どもの権利条約」の光をあてながら問い直す対談です。

新保育指針の「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」も一緒に検討してみましょう。

講師：山下雅彦(東海大学・熊本集会実行委員長)

藤原朱美(小学校教諭)

K 子どもの本の店「竹とんぼ」の38年—今、思うこと

悪戦苦闘の日々を乗り越え、「竹とんぼ」が生き抜いてきたのはなぜだったのか？38年前から守り通してきたものの根底には、平和を祈り、本物を求め、戦い続けた父北御門二郎(トルストイ翻訳家)の思いがあった。

今、本屋に求められるものも、実はそれではなからうか？

講師：小宮楠緒(子どもの本の店「竹とんぼ」)

L 「語り」で蘇る肥後の子どもたち

今もなお熊本人の心の中心にいる人々、熊本城を築いた「加藤清正と母」とんちの名人「彦一」などの幼い頃を物語ります。

他に肥後の民話語りの稽古もありますので、肥後を知ることができ、保育にも活かせると思います。

語り：寿咲亜似(寿咲流「語り座」創座長)

M 出汁から学ぶ食育～子どもの心と食のつながり～ 定員：50人

たかが出汁、されど出汁。

私たち日本人が昔からこよなく愛してきた和食を支える出汁。時代の流れとともに簡単便利な食材が増えつつある中で、未来を担う子どもたちの食に対して、私たちおとなができることは何か。先人たちから伝わる昔ながらの出汁から気づき、学ぶ「食育」を皆さんと考察していきたいと思えます。

講師：林 尚樹(削りぶしのやまいち)

N 作って遊ぼう！

定員：60人

陳腐なタイトルですが、身近な材料が驚きの変化！おとなたちも子どもたちも大受けすること間違いなし！

心に余裕を持つことで新たな発見が続々！固くなった脳も活性化。

一緒に楽しみ、子どもになろう。

講師：大津山 琢(子育ておもちゃ講師)

O 歌とリズム表現

定員：150人

私たちは、すぐれた音楽は人間を心豊かに賢く育ててくれることを学んできました。子ども一人ひとりが、歌うよろこび、リズム表現のよろこびの中で豊かに自立していく姿を沢山見えてきました。同時に「子どもたち」と「教材」に向かい合う中で、私たち自身も育ってきたように思います。教材をもっと深め、もっと広げ、もっと楽しむために一緒に学びましょう。

群馬保問研

※定員がある講座は先着順となりますので、M, N, Oを希望される方は第2希望までご記入ください。

参加要項

参加費

(一般) ○一次締切	5月1日(水)	8,000円
○最終締切	5月24日(金)	8,500円
○当日扱い		9,000円
(学生)		3,000円
弁当(6/8分)	1,000円

※最終締切日以降のお申し込みは、当日扱いとさせていただきます。お早めにお申込ください。

宿泊費(6/7・8).....詳細はホテルのご案内(次ページまたはHP)をご覧ください

■お申し込み開始は・・・2月1日(金)AM10時より インターネット及びFAXにて

■インターネットでのお申し込み ※インターネットでのお申し込みが手数料不要で便利です

- 1) 「全国保育問題研究協議会(全国保問研)」 <http://zenhomon.jp> を検索
- 2) (お申し込みは)「熊本集会申し込みページ」の「名鉄観光」をクリックしてください
- 3) 参加登録・宿泊予約画面より代表者の基本情報をご登録した後、参加分科会などをご選択ください
※上記のホームページよりお申し込みいただきますと手数料は必要ありません
- 4) お申し込み終了後、1週間以内に内容確認メールが届きます。お客様控えとして大切に保管してください
※スマートフォンからのお申込みの場合でも、返信メールが受け取れるようドメイン設定をお願いします

■FAXによるお申し込み(トラブル防止の為、お電話でのお申し込みは受け付けておりません)

◎申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXにてご送信ください

FAX 096-354-4359 ※FAXでのお申し込みの場合は、お一人様300円の手数料が必要となります

※1週間以内に内容確認FAXが届きます。お客様控えとして大切に保管してください

■ご変更・お取消しについて(トラブル防止の為、お電話による変更・取消は受付いたしておりません)

お申込の変更・取消はFAXまたはメールにてご連絡ください。なお、取消料は下記の通りです

参加取消日	参加費取消料	ご返金額
5日前迄 (6月2日まで)	500円	取消料・振込料を 除いた残金
前々日迄 (6月5日まで)	参加費の20%	
前日以降 (6月6日以降)	参加費の100%	返金ございません

変更・取消日	宿泊費取消料	弁当取消料
利用日の7日前～2日前まで (午後6時まで)	宿泊費の20%	無料
利用日の前日まで (午後6時まで)	宿泊費の30%	弁当代の50%
利用日当日 (午前中まで)	宿泊費の50%	弁当代の100%
未連絡	宿泊費の100%	弁当代の100%

当社営業時間内以降は翌日の受付となります。

※台風等の災害により開催が危ぶまれる場合は、ホームページで掲載いたします。随時ご確認ください。

なお、やむを得ず中止となった場合は、資料郵送料として1000円を頂戴し、残金は返金いたします。

《お申込・お問合せ先》

〒860-0803 熊本県熊本市中央区新市街11-18 熊本第一生命ビル内

名鉄観光サービス(株)熊本支店 「第58回全国保育問題研究集会」 担当 小西・櫻木

電話: 096-354-4351 / FAX: 096-354-4359

/ E-mail: kenichi.konishi@mwt.co.jp

【営業時間: 平日 9:00～17:00 (土日・祝日は定休日となります。)]



旅行業公正取引
協議会 会員

【宿泊ホテルのご案内】

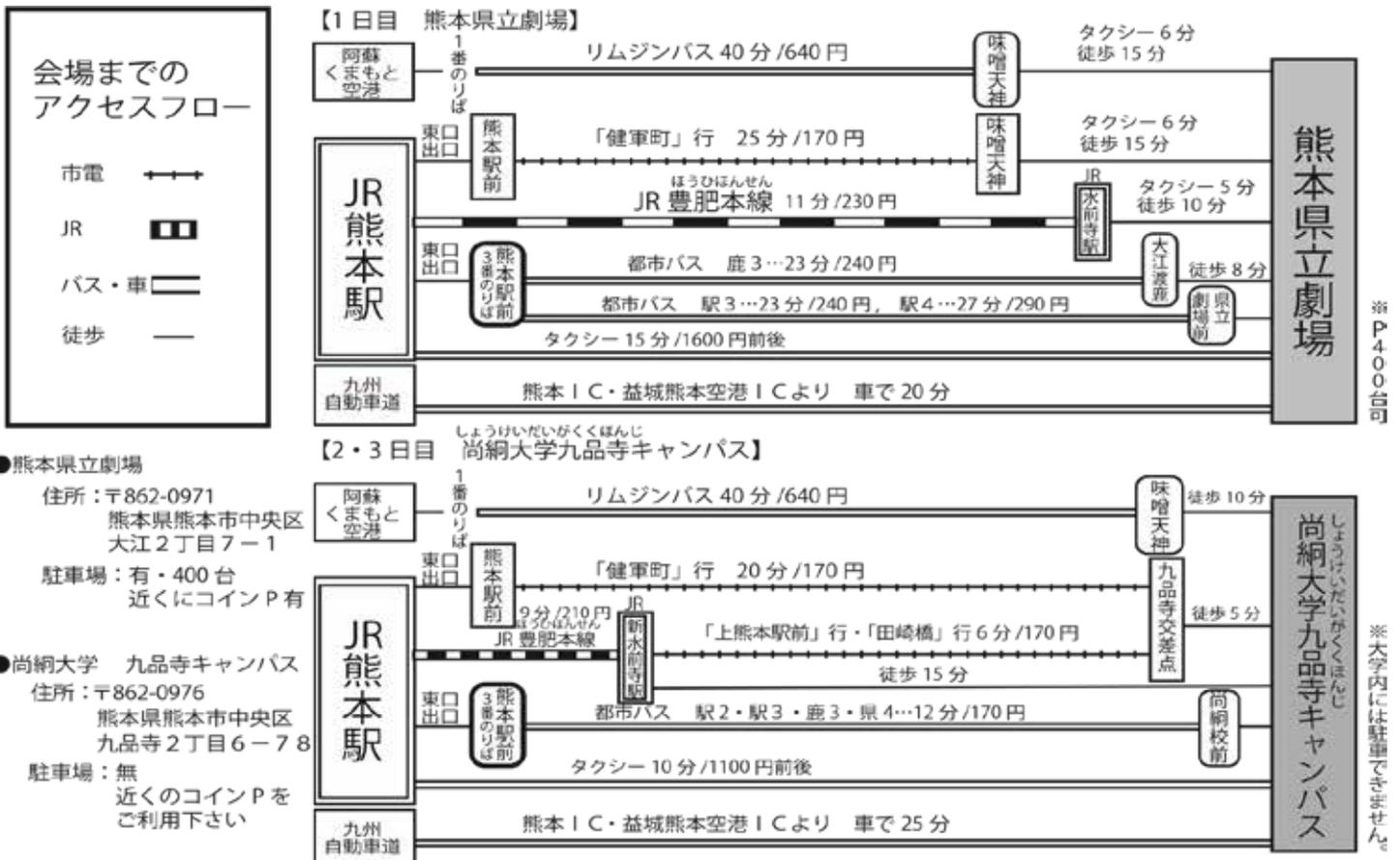
No.	宿泊施設名	申し込み記号	部屋タイプ	料金	アクセス
1	熊本 KB ホテル	A-1	シングル	7,800円	熊本駅より路線バス10分
2	アークホテル熊本城前	B-1	シングル	7,800円	熊本駅より路面電車30分
3	ルートイン熊本駅前	C-1	シングル	7,900円	熊本駅徒歩5分
4	熊本グリーンホテル	D-1	シングル	8,800円	熊本駅より路面電車30分
5	法華クラブ熊本	E-1	シングル	8,800円	熊本駅より路面電車20分
6	熊本東急 REI ホテル	F-1	シングル	9,200円	熊本駅より路面電車25分
7	リバーサイドホテル熊本	G-1	シングル	9,300円	熊本駅より路面電車25分
8	クラウンヒルズホテル熊本	H-1	シングル	9,500円	熊本駅より路面電車25分
9	ネストホテル熊本	I-1	シングル	10,800円	熊本駅より路面電車25分
10	コンフォートホテル新市街	J-1	シングル	10,800円	熊本駅より路面電車25分
11	三井ガーデンホテル熊本	K-1	シングル	10,800円	熊本駅より路面電車25分
12	熊本ワシントンホテル	L-1	シングル	10,800円	熊本駅より路面電車30分
13	熊本ホテルキャッスル	M-1	シングル	13,500円	熊本駅より路面電車30分
14	東横イン通町筋	N-1	シングル	2018年12月現在 料金未定のためHPにて お知らせします。	熊本駅より路面電車30分
15	東横イン新市街	O-1	シングル		熊本駅より路面電車25分
16	東横イン交通センター前	P-1	シングル		熊本駅より路面電車25分

◇上記宿泊プラン以外での館内ご利用分（駐車場、個人的なご利用等）は、チェックアウト時に各自ご精算ください。

◇ツインをご希望される方は、お申込用紙に同室者をわかるようにご記載ください。

☆平成28年4月の熊本地震の影響により、熊本市内の宿泊施設は非常に混み合っております。現在確保しております
お部屋が完売した場合、増室のご対応が出来かねる場合がございます。お早めにお申込ください。

【会場までのアクセス・マップ】



**※集会案内に「弁当お申し込み欄」がありませんでした。申し訳ありません。
FAXでお申し込みの方はこの用紙をご使用ください。お手数おかけいたします。**

【 新規 ・ 変更 ・ 追加 ・ 取消 】 ← いずれかに○をご記入ください

第58回全国保育問題研究集会 熊本集会 申込書 (FAX専用)

FAX : 096 - 354 - 4359 【名鉄観光サービス(株)熊本支店宛】

※FAXでのお申し込みの場合は、お一人様300円の手数料が必要となります

*一次締切 5月 1日 (水) *最終締切 5月 24日 (金)

	フリガナ	所属保問研	参加証・請求書送付先 (自宅 ・ 職場)	○印をご記入
代表者 氏名	()		〒	TEL : FAX :

	フリガナ 参加者氏名	性別	分科会	特別 第一希望	特別 第二希望	宿泊第一希望		宿泊 第二希望	弁当 8日	職場名 (学校名)	一般 学生	備考
						6/7	6/8					
例	くまもと ほなご 熊本 花子	女	3	N	H	A-1	A-1	B-1	○	□□□保育園	一般	No.1 と同室
1												
2												
3												

ご記入に際して (ご一読ください。) ※「参加要項」をご参照の上、ご記入ください

- 1 : 宿泊希望日欄に、ホテル申込記号をご記入ください。第二希望のホテルもご記入ください。
- 2 : ツインルーム希望の場合は、備考欄に同室者氏名をご記入ください。
- 3 : お支払いは、銀行振込のみとさせていただきます。尚、振込手数料はお客様負担となります。予めご了承ください。
- 4 : 変更・追加・取消などは、こちらの申込用紙に上書きしてFAXしてください。

【宿泊先のご案内】

- 平成31年6月7日(金)～9日(日)の3日間をご用意いたしております。前泊、後泊のご希望も受け賜ります。
- 宿泊料金は、1泊朝食付(サービス料・税込)の料金となります。
- ご希望ホテルは、原則予約申込先着順にて配宿させていただきます。
- 最少催行人員/1名様(添乗員は同行いたしません)
- お車でお越しの方は、各施設に駐車場はございますが予約は受付いたしておりません。(先着順となります)
- ホテルの詳細は、ホームページ等でご確認ください。

《お支払い方法》

◎ 一次締切日以降、郵送にて請求書・振込口座・参加証・旅行条件書(全文)等をお送りいたします。

お申し込み内容を確認後、5月31日(金)までにお振込みください

※振込手数料はお客様負担にてお願いいたします

※同封の参加証・お弁当引換券・宿泊券等は参加当日に必ずお持ちください。

・この旅行条件は平成30年12月25日を基準としています。

・旅行代金は平成30年12月25日現在有効な運賃・規則を基準としております。

お振込先

みづびしU.F.Jぎんこう
三菱UFJ銀行

しんとうきょうしてん
新東京支店

普通 3318875

めいてつかんこうさーびすかぶしきがいしゃ
名鉄観光サービス(株)